

2017 年度事業計画  
自：2017 年 1 月 1 日 至：2017 年 12 月 31 日

## 1. 活動方針

2017 年度の SPAN は、以下のような活動を展開していきます。

まず、助成金を活用した札幌市での視覚障害者の就労促進事業を実施します。これは 2016 年度に仙台市で実施した事業を札幌市で続けていこうというもので、就労促進フォーラムや支援者向けセミナー、指導者勉強会のほか、職業講習も行えればと考えています。

ちなみに、このような視覚障害者の就労促進のための啓発イベントの開催と職業講習を組み合わせた活動は恐らくほかにはほとんど例がなく、その意味で、SPAN は大変先駆的な活動をしていると思います。

次に、2016 年度にはあまり実施できなかった土曜講座なども積極的に実施していきます。内容は、Windows 10 や Office 2016 などの最新技術のほか、受講者のニーズが高いテーマも取り上げていきます。

また、助成金を活用して、長らく改訂していなかったインストラクター養成講座用のテキストや、画面構成を言葉で説明するマニュアルの制作などを行い、視覚障害当事者はもちろん、支援に当たる方にとっても有益な資料を提供していきます。

とりわけ画面構成を言葉で説明するマニュアルはこれまで作成された例はないと思います。

このほか、SPAN が活動の中で培ってきた関連企業や団体との連携を深め、新規事業を開拓する努力も続けていきます。

具体的には、サーティファイなどの資格試験の実施や対策講座の開催、また Windows 10 や Office 365 といった新しい技術に関連した講座の開催などについて、内外の環境を整えていきたいと考えています。

継続して実施できる公的な事業の受託が難しい現状では、こうした民間企業や団体との連携は SPAN が今後向かうべき道を示しているように思いますし、事実マイクロソフトやサーティファイといった企業との活動は成果を上げています。

もちろん、これまで続けてきた講座開催やテキスト制作、またメールマガジンや Web サイトなどによる情報提供といった活動は SPAN のベースとなるものですので、これからも大切にしていきたいと考えています。

会員向けの活動としては、SPAN サロンの内容が必ずしも会員のみなさんのニーズに沿っていない面もあるので、開催回数を絞った上で、より充実した内容にしていくほか、タブレットサロンも継続していきたいと考えています。

さらに 2016 年度に実施した忘年会は多くの方に参加していただいたので、2017 年度にも実施する計画です。

また、会員向けに毎月発行している「SPAN ニュース」も引き続きお届けして会の活動を会員のみなさんと共有していきます。

一方で、赤字が続いている収支の改善にも本腰を入れて取り組まなければと考えています。具体的には以下のようないくつかの対策を講じていきます。

- (1) 助成金の獲得
- (2) 寄付の呼びかけ
- (3) 講座受講料の改訂
- (4) 経費の節減

会員や関係者のみなさんにご負担をおかけして恐縮ですが、SPAN が長く活動を続けるためにどうぞご理解いただきますようお願いします。

このように、2017 年度も厳しい中にも充実した活動ができればと考えていますが、そのためには会員のみなさんのお力が不可欠です。

ぜひ、SPAN の目標である「一人でも多くの視覚障害者に ICT を活用してもらう」という理念に向かって、一緒に活動していきましょう。

無題  
2016年度事業計画  
自：2016年1月1日 至：2016年12月31日

特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク

## 1. 活動方針

2016年度もSPANにとって厳しい年となりそうです。2013年度から続いている赤字体質を改善するため、2015年度には講座受講者の増加を図ったり、他団体が開催するイベントなどに参加してSPANの活動を広く発信するなどの対策を講じましたが、赤字幅が拡大してしまいました。

そこで、2016年度はこの流れを何としても止めるため、以下のような活動を展開していきたいと考えています。

- (1) 助成金を活用した事業展開。
- (2) SPANが持つノウハウを活かした事業受託。
- (3) 受講する方のニーズに即した講座の開催。
- (4) 寄付金の確保。

具体的には以下のような活動を実施していきます。

- (1) 助成金を活用した東京以外の地域での就労支援事業を実施。
- (2) 官公庁等が募集する調査研究事業への積極的な応募。
- (3) 助成金を活用し、SPANがこれまで培った指導者養成のノウハウを活かした講座を開催。
- (4) 新たに半日(4時間)で完結するワンポイント講座を開催し、気軽に受講できる場を提供。
- (5) 会員のみなさんのご協力をいただきSPANの活動をPRして寄付金を確保。

実施事業としては、助成金を活用した仙台市での視覚障害者の就労促進事業のほか、東京以外の地域でのパソコンやタブレットPCの指導者向け講座を計画していきます。

そして、半日で完結するワンポイント講座を新設し、受講する方が気軽に参加できるようにします。テーマもパソコンのほか、タブレットPCなども取り上げていきます。また、SPANの広報誌などを活用して会員のみなさんのお知り合いの方にSPANを支援していただくお願いをしていきたいと考えています。

もちろん、これまで続けてきた講座開催やテキスト制作、またメールマガジンやWebサイトなどによる情報提供といった活動はSPANのベースとなるものですので、これからも大切にしていきたいと考えています。

## 無題

会員向けの活動としては、昨年度実施したSPANサロンは必ずしも会員のみなさんのニーズに合っていない面もあったので、開催回数を絞った上でより充実した内容にしていくほか、忘年会などの親睦活動を、より多くの方が参加できるよう会員のみなさんの声を聞きながら実施していきます。また、会員向けに毎月発行している「SPANニュース」も引き続きお届けして会の活動を会員のみなさんと共有していきます。

このように、2016年度もSPANにとって厳しい年となりそうですが、会員のみなさんと一緒に乗り越えていきたいと思っています。そのためには会員のみなさんのお力が不可欠です。ぜひ、SPANの目標である「一人でも多くの視覚障害者にICTを活用してもらう」という理念に向かって、一緒に活動していきましょう。

## 2. 活動計画

2016年度には以下の活動を計画しています。  
(別紙「2016年度活動計画」参照)